

【主担当部局：教育委員会】

県民の皆さんとめざす姿（令和5年度末での到達目標）

子どもたちが、急速な技術革新等により変化が激しく予測困難な社会にあっても、変化を前向きに受け止め、社会の一員としての自覚と責任を持ち、自らの感性や創造性を発揮して、他者との絆を大切にしながら、豊かな未来を創っていく力を身につけています。

主指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
自立した主体として、社会において権利を行使し責任を果たそうと考える高校生の割合		65.3%		68.3%		74.3%
	62.3%					
目標項目の説明と令和3年度目標値の考え方						
目標項目の説明	「社会の一員として権利を行使し、義務と責任を果たそうと考えていますか」、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」という質問に対して肯定的な回答をした県立高校生の割合					
3年度目標値の考え方	「全国学力・学習状況調査」における中学生への同内容の質問に対する回答の伸びが、4年間で約10ポイント（2.6ポイント／年）であること、新学習指導要領の実施に向けた授業改善、主権者教育や消費者教育等に取り組むことにより、毎年3ポイント上昇させることとして、目標値を設定しました。					

副指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
社会的な課題について話し合う活動を行っている高等学校の数		27校		37校		56校
	23校					
目標を持って学習や活動に取り組んでいる子どもたちの割合		小学生 89.2% 中学生 87.5% 高校生 68.1%		小学生 90.2% 中学生 88.4% 高校生 70.4%		小学生 92.0% 中学生 90.0% 高校生 75.0%
	小学生 88.2% 中学生 86.6% 高校生 65.9%					

副指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
「困難だと思う ことでも、前向 きに考えて挑戦 している」と答 えた高校生の割 合		73.0%		74.0%		76.0%
	71.8%					

現状と課題

- ①子どもたちの発達段階に応じた主権者教育に取り組むとともに、将来の自立した消費者としての役割や責任についての学習を進めています。今後も主体的に社会を形成する力を育成する必要があります。
- ②新型コロナウイルス感染症の影響で高校生の就職を取り巻く状況が厳しくなると予想されたことから、就職アドバイザーを3名増員のうえ15名とし、各高校でも学校全体での取組体制を整え、経済団体にも要請して求人確保に取り組むとともに、地域のさまざまな企業の情報を高校生に紹介しています。今後も就職面接会や合同就職相談会などを開催し、就職を希望する生徒一人ひとりの進路実現に取り組んでいきます。
- ③小規模高校（9校10校舎）において、地域の協力を得ながら、地域住民や職業人と関わる実社会での実践活動や地域課題の解決策についての探究活動に取り組んでいます。今後も、生徒が地域への愛着や誇りを高め、その地域で活躍できる将来像をしっかりとイメージすることや、将来にわたって「志」を持って学ぶことにつなげられるよう、地域と高校が一体となって地域課題解決型キャリア教育を継続的に取り組む協働体制を各地域で定着させることが必要になります。
- ④海技士国家資格を取得するための航海実習を行う実習船「しろちどり」について、建造から20年が経過していることから、新たな実習船の建造が必要な状況です。
- ⑤新型コロナウイルス感染症の影響により、高校生の留学や海外研修、海外インターンシップ等の実施が困難となる中、テレビ会議システムを活用した海外姉妹校等との国際交流や、英語を実践的に使用するオンラインの英語ディスカッション・ディベートセミナーの開催により、生徒に国際的な感覚と広い視野を身につけられる取組を推進しています。
- ⑥令和元年度に実施した小学校英語の指導方法や評価に係るモデル校の事例を、各小中学校に周知しました。引き続き、英語の教科書を使用した言語活動に係る実践研究を行っています。中学校においては、モデル地域を指定し、多くの教材が利用できる英語教材作成支援システムを導入し、英語の授業で実践的なコミュニケーションができるよう研究を進めています。今後も県全体で小中学校の外国語教育が適切に実施されるよう取り組んでいく必要があります。
- ⑦地域の名所や偉人、有名な観光地の魅力等について、中学生ならではの視点で英語でまとめた「ワン・ペーパー・コンテスト」の取組を進めています。また、中学校1校を実践校に指定し、講師を派遣のうえ、課題解決型学習（PBL）の手法を取り入れた郷土学習を進めており、実践発表会を行い、その成果を普及します。

- ⑧ Society5.0 の時代を生きる人材を育成するため、Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Art(s)(リベラルアーツ・教養)、Mathematics(数学)を活用した文理融合の課題解決型教育を通して、探究力、論理的思考力を育成する「学びのSTEAM化」の実証事業を行っています。今後も「知ること」とどまらず、「創る」活動につながる学びを進めます。
- ⑨ 臨時休業期間中にオンライン教育を実施しました。学校再開後も臨時休業中の取組を生かし、オンラインを活用して、不登校や病気療養中の生徒への学習支援や、暴風警報等での休校時に課題を提供するなどの取組を行っています。今後も多様な学びの手段としてオンライン教育の取組を進める必要があります。

令和3年度の取組方向

- ① 社会の形成者としての自覚と責任を持ち、自ら考え判断し課題の解決に向けて主体的に行動する力を育むため、発達段階に応じた主権者教育、消費者教育、環境教育などに取り組みます。
- ② 新型コロナウイルス感染症の影響により、高校生の就職を取り巻く環境は極めて厳しくなることが懸念されることから、一層の求人確保に加え、地域の魅力ある企業や仕事内容などを生徒に情報提供し、一人ひとりの希望や特性に応じた就職実現につなげます。外国人生徒や障がいのある生徒へも重点支援を行います。また、児童生徒が働くことの意義や大切さを理解し、社会的自立や職業的自立に必要な能力や態度を身につけ、地域で活躍できるよう、発達段階に応じたキャリア教育を進めます。また、県立高校が開催するライフプラン教育に関する保育実習や講演会などの取組を支援します。
- ③ 地域の高校において、高校生が地域課題や地域の特色ある産業を通じて地域住民や職業人と関わりながら年間を通じて実践活動に取り組み、これからの社会の変化に対応できる能力や行動力を伸ばして「生きる力」を育む、地域を学び場とした地域課題解決型キャリア教育のモデルの構築に取り組みます。
- ④ 実習船「しろちどり」については、生徒の安全確保や最先端の航海技術習得のため、令和5年度末の竣工をめざして取組を進めます。
- ⑤ 将来、国際的な視野を持ち、さまざまな分野で活躍していけるよう、留学や海外研修を促進するとともに、学校を越えて議論する活動を充実します。
- ⑥ 児童生徒が主体的に英語を用いてコミュニケーションを図る力を向上させるため、指導方法や評価方法に係る研究成果を普及します。中学校においては、生徒が4技能5領域(聞くこと、読むこと、話すこと(やりとり・発表)、書くこと)の力を総合的に伸ばせるよう授業改善の支援に取り組みます。また、中学生が郷土三重の魅力を英語で発信する取組や、地域の伝統や産業、地域の人々との関わりを通して、主体的に学ぶ取組を推進します。
- ⑦ 令和2年度の「学びのSTEAM化」に係る実践研究の成果と課題をふまえ、これからの時代に求められる、創造的に課題を発見し、解決する力を育みます。
- ⑧ 令和2年度に整備予定のICT環境のもとで、情報活用能力の育成や、一人ひとりの理解度に応じた指導内容の工夫・改善を行い、基礎学力の定着に取り組みます。オンライン教育については、複数の学校や他県・海外の高校を結んで行う学習活動など、子どもたちにとって、より効果的な学びが実現できるよう改善を進めます。

主な事業

- ①（一部新）高等学校学力向上推進事業【基本事業名：22201 主体的に社会を形成する力の育成】
（第10款 教育費 第1項 教育総務費 4 教育指導費）
予算額：(R2) 16,496千円 → (R3) 61,101千円
事業概要：生徒の学力の定着・向上を図るため、県立高校に対して指導・助言等を行います。GIGAスクールサポーターを配置し、県立高校でのICT環境の効果的な活用を進めるとともに、ICTを活用した授業において、著作物を扱う場合に必要となる著作権料を負担します。県立高校3校をモデル校に指定して、AIDRIL教材を活用し、生徒の学力の定着状況や学習意欲の変容を把握し、一人ひとりに応じた効果的な学びに係る検証に取り組み、授業改善につなげます。また、他の学校の授業を受講できる遠隔授業に係る研究に取り組みます。
- ②（新）特別活動支援事業【基本事業名：22201 主体的に社会を形成する力の育成】
（第10款 教育費 第1項 教育総務費 4 教育指導費）
予算額：(R2) ー 千円 → (R3) 6,800千円
事業概要：新型コロナウイルス感染症の影響により、県立学校が修学旅行を中止または延期した場合の企画料、学校の臨時休業によりやむを得ず中止した場合に発生するキャンセル料について、その経費を負担します。
- ③地域課題解決型キャリア教育モデル構築事業
【基本事業名：22201 主体的に社会を形成する力の育成】
（第10款 教育費 第1項 教育総務費 2 事務局費）
予算額：(R2) 24,222千円 → (R3) 20,907千円
事業概要：地域の実践パイロット校において、県立高校と地域をつなぐコーディネーターを活用して、生徒が地域課題や特色ある産業を題材に地域住民や職業人と関わりながら、実社会での実践活動に取り組むことで、地域の魅力と課題を知り、解決方策を考え実践する人材を育成します。実践パイロット校におけるこれまでの取組をもとに、学識経験者や地域関係者等で構成する推進委員会での検討をふまえ、他者と協働する力や自己と社会の関わりを考える力など、これからの社会の変化に対応するために必要な力を育成する「地域課題解決型キャリア教育」のモデルを構築します。
- ④未来へつなぐキャリア教育推進事業【基本事業名：22202 キャリア教育の充実】
（第10款 教育費 第1項 教育総務費 4 教育指導費）
予算額：(R2) 22,091千円 → (R3) 27,036千円
事業概要：新型コロナウイルス感染症の影響の中でも、一人ひとりの希望や特性に応じた就職を実現するため、新たな求人開拓や生徒の就職相談等の就職支援、地域の魅力ある企業や仕事内容等を生徒に情報提供する就職実現コーディネーターを増員します。また、外国人生徒や障がいのある生徒に対して、きめ細かな相談や求人開拓などの重点支援を行います。

⑤(新) マナビバミエ若き起業家育成事業【基本事業名：22202 キャリア教育の充実】

(第10款 教育費 第1項 教育総務費 4 教育指導費)

予算額：(R2) ー 千円 → (R3) 6,348千円 ※みんつく予算

事業概要：高校生が将来の起業につながる力を身に付けることができるよう、県内外で活躍する起業家の講演や指導により、商品開発や市場開拓について学ぶとともに、フィールドワークや地元関係者等との交流を通して、高校生ならではの発想を生かしたビジネスプランの作成・提案等に取り組みます。

⑥(一部新) 地域とつなぐ職業教育充実支援事業【基本事業名：22202 キャリア教育の充実】

(第10款 教育費 第1項 教育総務費 4 教育指導費)

予算額：(R2) 27,221千円 → (R3) 29,542千円

(27,221千円 → 1,818,602千円 ※2月補正含みベース)

事業概要：職業学科における実習環境を整備するとともに、生徒がより高度な専門的知識・技術を習得できるよう、全国規模の競技会への参加や看護・介護の実習を支援します。また、GAPを生かした学習を通じ、農業に関する実践力を身に付け、経営者や地域のリーダーとなる人材を育成します。国事業を活用して、工業高校や農業高校に技術革新の進展やデジタル化に対応した産業教育設備や機器を整備するとともに、将来に地域産業の核となる人材を育成するための指導の研究に取り組みます。

⑦(新) 実習船建造事業【基本事業名：22202 キャリア教育の充実】

(第10款 教育費 第4項 高等学校費 2 高等学校管理費)

予算額：(R2) ー 千円 → (R3) 12,606千円

事業概要：水産高校の航海実習における生徒の安全確保や、最先端の航海技術を習得できる環境を整えるため、実習船「しろちどり」に代わる、新しい実習船の建造に係る設計を行います。

⑧世界へはばたく高校生育成支援事業【基本事業名：22203 グローカル教育の推進】

(第10款 教育費 第1項 教育総務費 4 教育指導費)

予算額：(R2) 18,601千円 → (R3) 11,803千円

事業概要：高校生の留学の促進および海外研修旅行の実施をとおして、グローバルな視野を育み、主体性や積極性の向上を図るとともに、高校生を対象にした「レベル別英語ディベートセミナー」を開催し、英語での発信力や論理的思考力の向上を図ります。また、科学に対する興味・関心を高めるため、三重県高等学校科学オリンピック大会を開催します。

⑨英語教育推進事業【基本事業名：22203 グローカル教育の推進】

(第10款 教育費 第1項 教育総務費 4 教育指導費)

予算額：(R2) 2,391千円 → (R3) 1,642千円

事業概要：中学校においてモデル地域を指定し、英語の音声付きウェブ教材を活用し、授業改善に取り組むとともに、小中学校教員を対象に、新学習指導要領をふまえた英語授業の改善に係る研修会を実施します。また、中学生が三重の魅力英語で一枚紙にまとめて発信する「ワン・ペーパー・コンテスト」を実施します。

⑩課題解決型学習（PBL）を通じた新しい郷土教育推進事業

【基本事業名：22203 グローカル教育の推進】

（第10款 教育費 第1項 教育総務費 4 教育指導費）

予算額：(R2) 397千円 → (R3) 281千円

事業概要：郷土について誇りと愛着を感じ、将来地域で活躍する意欲と態度を身につけることができるよう、中学生が学校や地域の課題について解決策を考え、提案する課題解決型学習（PBL）の手法を取り入れた取組を支援するとともに、その成果を発表する実践発表会を実施します。

⑪学びのSTEAM化推進事業【基本事業名：22204 知識を活用して新たな価値を創り出す力の育成】

（第10款 教育費 第1項 教育総務費 4 教育指導費）

予算額：(R2) 4,410千円 → (R3) 2,825千円

事業概要：これからの時代に求められる創造的に課題を発見し解決する力を育むため、Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Art(s)(リベラルアーツ・教養)、Mathematics(数学)を活用した文理融合・教科横断的な課題解決型の学びを通して、論理的思考力や探究力を育成するSTEAM教育の実践研究に取り組み、Society5.0の時代を生き抜く人材を育成します。

⑫情報教育充実支援事業

【基本事業名：22204 知識を活用して新たな価値を創り出す力の育成】

（第10款 教育費 第4項 高等学校費 2 高等学校管理費）

予算額：(R2) 992,194千円 → (R3) 275,334千円

(2,268,973千円 → 436,074千円 ※2月補正含みベース)

事業概要：県立学校において、教科「情報」で学ぶプログラミング教育や情報デザインなど、専門的な実習に対応する学習用端末を整備します。学びの保障と教育の機会均等の観点から、低所得世帯の高校生に対する貸与等を目的とした国の補助金を活用し、生徒への貸与や学校で活用するための学習用端末を整備します。